

農家と農業委員会をむすぶ

あきたし

農委會

第60号

編集行 秋田市農業委員会
住所 秋田市山王一丁目1-1
TEL (018) 888-5796
FAX (018) 888-5797

新年度のごあいさつ

秋田市農業委員会

会長 佐々木 吉秋



今年の冬は例年にも増して寒さの厳しい年でありましたが、3月には春の足音が聞こえて来るようになつてまいりました。皆様におかれましては日々御健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、日頃、当農業委員会の業務運営に対し、格別のご指導とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年の稻作につきましては、田植え後の6月の低温に加え、7月と8月の2度にわたる豪雨被害があつたものの、その後は概ね好天に恵まれ、中央地区の水稻の作柄は「平年並み」となりましたし、概算金も3年連続の上昇となり、農家の皆様にとりましては、ほつと一息といったところだつたと思います。

さて、皆様もご承知のとおり、改正農業委員会法が一昨年4月に施行され、本市においても新たな制度のもと昨年7月に農業委員が市長により任命され、農地利用最適化推進委員を農業委員会で委嘱するなど組織のあり方が大きく変わりました。当農業委員会では新体制のもと委員が一丸となつて担い手への農地集積、集約化や遊休農地の発生防止、解消等に努めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、戌年のこの一年、皆様にとりまして素晴らしい実り豊かな年となりますようお祈り申し上げあいさつといたします。

本年度もよろしくお願ひします。 秋田市農業委員会 農業委員・推進委員・事務局職員一同

農業委員	佐々木 賢一	推進委員	佐藤 正男
小野	稻垣 鈴木	高橋 保坂	利秋 中嶋 庄悦
須磨	三浦 鈴木	萩原 越後屋	貞美 権二
藤田	武藤 稲垣	鎌田 重憲	正真
佐々木	鈴木 宏和	加賀屋 慎一	
英久	眞作 靖	鈴木 英弘	
繁明	修 良郎	平川 秀悦	
佐々木	佐々木 万喜夫	鎌田 悅雄	
萬喜夫	相場 堅一	三浦 藤孝	
佐々木	松本トシ子	佐藤 加藤	
萬喜夫	伊藤 洋文	佐藤 哲実	
佐々木	安田 友一	佐藤 哲実	
萬喜夫	柴田 ますみ	佐藤 哲実	
佐々木	白岩 勝	佐藤 哲実	
萬喜夫	田近 金一	佐藤 哲実	
(議席順)			
佐藤 又右衛門	吉田 孝司	佐藤 公誠	
佐々木 強	酒井 慶一	佐藤 足利	
佐々木 晃	吉田 誠	佐々木 石塚	
齊藤 又右衛門	佐々木 錚悦	佐々木 聖爾	
(区域順)			

【本号の主な内容】

表 紙	新年度のごあいさつ	5 ページ	市への要望活動
2 ページ	ご存じですか？収入保険制度	6 ページ	秋田市農業大賞表彰
3 ページ	農業委員と推進委員の活動	7 ページ	農作業標準受委託料ほか
4 ページ	パソコン農業簿記ほか	8 ページ	園芸振興センター研修生の就農状況ほか



ご存じですか？収入保険制度

収入保険制度とは

○対象者

青色申告を行っている農業者（個人・法人）

※青色申告を5年間継続している農業者が基本ですが、青色申告（簡易な方法を含む）の実績が加入申請時に1年分あれば加入できます。ただし、保険方式の保障限度額の上限は青色申告の実績に応じて段階的に引き上げます。

○対象収入

農業者自ら生産している農産物の販売収入全体
※加工品については原則として販売収入に含めませんが、自ら生産した農産物を加工している場合は、その収入も含まれます。

○対象要因（支払対象となる場合）

自然災害による収量減少に加え、需給変動による価格低下など、経営努力では避けられない収入減少を保障の対象にします。

○補償内容

過去5年間の平均収入を基本として、保険期間の當農計画も考慮して、基準収入を設定します。

○保険料・積立金
保険料は掛け捨て、積立金は補てんに使われない限り翌年に持ち越されます。
※保険料・積立金とは別に事務費が必要となります。

△加入・支払等のスケジュール（個人の場合）
※法人の場合は事業年度が収入算定期間になります。

前年(H30)

当年(H31)

翌年(H32)

10月～11月
加入申請

12月末
保険料・積立
金の納付

1月～12月
(税の収入算定期間)
保険期間

3月～6月
(確定申告後)
保険金等の請
求・支払い

収入保険制度Q&A

Q 経営所得安定対策や農業共済など、似たような制度との関係は

A 収入保険制度と同じように国費が投入されている制度と同時加入は出来ません。自分の經營形態に合った制度に選択加入することとなります。また、水稻共済は平成31年産米から任意加入となります。

Q 青色申告の実績が5年未満の場合、補償限度を徐々に引き上げるとあるが、具体的には

A 加入申請時に1年分の実績がある場合は基準収入の70%、2年分の場合は75%、3年分の場合は78%と引き上げていき、4年分の場合は80%とになります。また、5年分の場合は85%とになります。

Q 平成30年分の所得から青色申告を始める場合、いつから加入申請を行うことができます。

A 平成31年2～3月に申告を行い、平成31年秋から加入申請を行うことができます。

制度の詳細についてはお近くの農業共済組合へお問い合わせください。
なお、農業共済組合のホームページでは基準収入の算定や類似制度などとの比較のシミュレーションが出来ます。ご活用ください。

農業委員と農地利用最適化推進委員の活動（平成29年度）

その他行事等

○市長招集総会・農地利用最適化推進委員委嘱式
新しく農業委員が任命、推進委員が委嘱され、新体制がスタートしました。

○農地パトロール 農業委員と推進委員が市内5地区に分かれてパトロールを行い、遊休農地や違反転用がないか目視で確認しました。パトロールの結果、遊休農地等があつた場合にはその所有者への意向調査を行うなど、農地の利用の最適化に努めました。

○東北・北海道農業活性化フォーラム
東北6県と北海道が毎年持ち回りで開催し、今年は山形県で開催され、農業委員と推進委員が参加しました。今回は「農地の将来ビジョンと最適化の推進活動」というテーマで開催され、各県などの特徴的な取り組みや活動内容が紹介されました。

○東北・北海道ブロック女性農業委員・農地利用最適化推進委員研修会
女性農業委員・推進委員の活動を推進するため、毎年開催され女性農業委員2名が参加しました。今年は北海道で開催され、女性農業委員・推進委員の活動事例や女性委員登用への課題などが話し合われました。

○登米市農業委員会視察対応
宮城県登米市の農業委員の方々が視察に来ました。視察では新体制移行後の活動内容や農地の利用状況調査などについて話し合い、活発で有意義な意見交換となりました。

○農地等の利用の最適化の推進に関する指針の策定
　　担い手への農地の利用集積面積や遊休農地解消面積、新規参入者数などの農地等の利用の最適化の推進に関する数値目標と、その達成に向けた具体的な推進の方法を定めました。

パソコン農業簿記講座（初心者向け、応用編）

農業委員会では毎年、経営能力アップのためのパソコン農業簿記講座を開催しております。初心者向けではパソコン簿記の基本や電子確定申告のメリットを、応用編では実際に自分のデータを使用し、確定申告に向けた簿記ソフトの使用方法などを学習しました。

青色申告は、自身の経営収支を客観的に見直せるだけでなく、収入保険制度の加入要件となっているほか、65万円（または10万円）の特別控除を受けられるなど税法上のメリットもあります。

講座の開催については、10～11月頃の広報あきた等でお知らせします。

【昨年度の実績】

▼初心者向け

日 程

2日間

(12月7～8日)

内 容
参加者数
27名（延べ）

- 複式簿記、パソコン簿記の基本、
- 青色申告と税務申告のポイントについて等

▼応用編

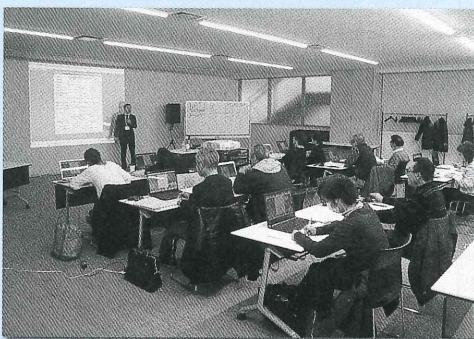
日 程

2日間

(1月19日～2月9日)

内 容
参加者数
34名（延べ）

- 入力の応用的操作、帳票確認等



簿記講座

次のような意見や 要望が出されました

- 収入保険制度や経営所得安定対策など、似たような制度があり、違いが分からぬ。もっと説明を受けられる機会を増やして欲しい。
- 遊休農地は病害虫や鳥獣害の発生要因となり周辺農地へ迷惑をかけることになる。より一層の指導をお願いしたい。



活き活き農業専科

開き活き農業専科を 開催しました

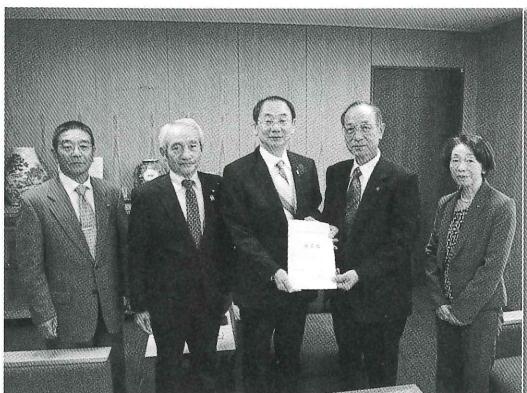
本年1月27日～2月17日にかけて市内7地区で、地元農業委員および農地利用最適化推進委員の主催による活き活き農業専科を開催しました。これは、農業委員と農地利用最適化推進委員が農業者と意見交換し、農業委員会活動や要望活動に反映させるため毎年開催しているものです。

今年は約220名の皆様に参加していただき、収入保険制度や遊休農地、経営所得安定対策などについて説明をしたほか、地域での問題等について意見交換などを行いました。

平成30年度秋田市農業施策に対する要望書を 市長へ提出

昨年10月3日に市役所において、佐々木会長から穂積市長へ直接要望書を提出しました。

これは、秋田市農業活性化フォーラムや各地区で行われて いる活き活き農業専科等の場において、農業者の皆様から頂いたご意見や要望を集約し、農業委員会総会において協議・決定したもので



要望書提出

5 4	3 2	(7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)	1	【国・県への要望事項】	2 1	【市への要望事項】	2	1	2	1	2	1	業施策に対する要望書を
耕畜連携の取組支援について	地域農業政策の充実について	地産地消の促進について	耕作放棄地対策の推進について	農業機械の整備について	農業生産基盤の整備促進について	認定就農者および新規認定就農者への支援について	災害復旧支援について	農機具オペレーターの育成について	複合経営に関する人材育成について	ほ場および基幹施設の整備について	土地改良施設維持管理適正化事業について	担い手の確保・育成について	農業委員会関係予算の確保について
農業委員会関係予算の確保について	米政策改革について	有害鳥獣対策の強化について	平成30年度市単独土地改良事業の推進について	農業委員会の体制強化について	農業生産基盤の整備促進について	認定就農者および新規認定就農者への支援について	災害復旧支援について	農機具オペレーターの育成について	複合経営に関する人材育成について	ほ場および基幹施設の整備について	土地改良施設維持管理適正化事業について	担い手の確保・育成について	農業委員会関係予算の確保について
相続未登記農地の対策について	米の生産調整について	日本型直接支払制度について	農地中間管理事業について	農業農村整備事業予算の確保について	日EU経済連携協定（EPA）への対応について	認定就農者および新規認定就農者への支援について	災害復旧支援について	農機具オペレーターの育成について	複合経営に関する人材育成について	ほ場および基幹施設の整備について	土地改良施設維持管理適正化事業について	担い手の確保・育成について	農業委員会関係予算の確保について

1 国・県への要望事項

(7) (6) (5) (4)

担当手の支援対策の充実について
農地中間管理事業について
日本型直接支払制度について
相続未登記農地の対策について
農業農村整備事業予算の確保について
日EU経済連携協定（EPA）への応について
耕畜連携の取組支援について
農業委員会関係予算の確保について

負担軽減を図っております。今後も引き続き被災状況の把握に努め被害を受けた農地や生産施設等経営基盤の速やかな復旧を支援してまいります。

○**米の生産調整について**
平成30年産米以降の生産量の決定が、各地域協議会が市町村段階の生産の目安を算定し、農業者に提示する方式に変わります。このため、新しいシステムにスムーズに移行できるよう万全な準備を行

助成制度の周知については、チラシの配布や新聞・ホームページへの掲載のほか、関係機関と連携し、被災農家に対する聴き取り調査を実施しております。

助成制度の周知については、チラシの配布や新聞・ホームページへの掲載のほか、関係機関と連携し、被災農家に対する聴き取り調査を実施しております。

また、激甚指定に伴う本市独自の措置として、通常徴収することとしている査定および実施設計に係る受益者分担金を免除するなど負担軽減を図っております。今後も引き続き被災状況の把握に努め、被害を受けた農地や生産施設等経営基盤の速やかな復旧を支援してまいります。

回答 米政策の見直しに際しては、農業者自らの経営判断を生かせるとう、需要や在庫、価格変動に関するきめ細やかな情報の提供に加え、全国的な調整の仕組みの構築など実効性のある需給調整に向けた環境整備を一層推進するとともに、十分な周知を図るよう国・県に要望してまいります。

○相続未登記農地の対策について
近年、農地について相続が発生しても、登記名義人が変更されず、権利関係が不明確となるケースが多く、相続未登記農地は担い手への農地集積・集約化を進める上で大きな阻害要因になつていていることから、各事業を円滑に実施するため、法改正も含め必要な措置を講じるよう、国に要望してください。ようお願いします。

相続未登記農地の集約化を促進するため、必要な措置を講じるよう国に要望してまいります。

相続未登記農地の集約化を促進するため、必要な措置を講じるよう国に要望してまいります。

うとともに、次年度に向けた営農活動に支障が出ないよう農業者等に対する十分な周知を図るよう県へ要望してくださいようお願ひします。

平成29年度秋田市農業大賞表彰式

秋田ビューホテルで開催されました。表彰式では市内の農業者や関係機関、140名以上が参加し受賞者の皆様をお祝いしました。

秋田市農業大賞表彰式が本年2月9日に秋田ビューホテルで開催されました。表彰式では市内の農業者や関係機関、140名以上が参加し受賞者の皆様をお祝いしました。

○秋田市農業大賞（1名）

秋田市農業賞の中から特に優れた農業者を表彰

○秋田市農業賞（5名）

地域の担い手として模範的な活動を開拓し、優れた業績をあげている個人や団体を表彰

○農業こども絵画コンクール（10名）

農業へ夢と希望を与える絵画を市内の小学生から募集し、優秀な成績を収めた計10点（最優秀賞1点、優秀賞1点、特別賞8点）を表彰

○農政協力員永年勤続表彰（14名）

10年以上農政協力員として、市や農業委員会と地域農業者のパイプ役として活躍されている方々を表彰



農業賞受賞者と永年勤続表彰者のみなさん

		氏名		地区		氏名		経営および活動内容	
		若手農業者部門		畜産の部		土地利用型の部		経営体部門	
		地域活性化部門		施設園芸の部		雄和		雄和	
		上北手		雄和		岡部		岡部	
安藤	藤田	川村	石川	原田	加賀谷	進藤	渡邊	加藤	齊藤
悦朗	浩美	昭一	惣一	藤栄	誠咲	新太郎	兵太郎	勇作	孫司
戸米川	添	岩見三内	菊長商事	四ツ小屋	下北手	太平	太平	太平	義満
宝生口	崎	山	鵜養	仁井田	寺内	寺内	寺内	寺内	善仁
									仁井田
									柳田
									相場美緒
									菅原雄
									生乳
									野菜、水稻
									施設野菜、露地野菜
									水稻、露地野菜、農産物加工と販売
									水稻、畑作

○農政協力員永年勤続表彰（敬称略）

部門	部	地区	氏名	経営および活動内容
畜産の部	畜産の部	雄和	(農) 平沢ファーム	水稻、大豆、園芸
施設園芸の部	施設園芸の部	雄和	（農）殖産雄和牧場	園芸
（農）殖産雄和牧場	（農）殖産雄和牧場	岡部	生乳	
外旭川	外旭川	忍		
仁井田	仁井田			
柳田	柳田			
相場美緒	相場美緒			
菅原雄	菅原雄			
生乳	生乳			
野菜、水稻	野菜、水稻			
施設野菜、露地野菜	施設野菜、露地野菜			
水稻、露地野菜、農産物加工と販売	水稻、露地野菜、農産物加工と販売			
水稻、畑作	水稻、畑作			

○秋田市農業大賞（敬称略）

県外から産乳能力の高い牛の導入を積極的に行い生乳生産量を向上させているほか、受精卵移植を活用した肉用牛生産に取り組み、安定して高品質な生乳。肉用牛を生産する技術が高く評価されました。



農業こども絵画コンクール受賞作品
(最優秀賞)

平成30年度農作業標準受託料

作業種別		料金(円)		備考
春作業	耕起	10a当	6,000	オペレータの1人作業
	代かき	10a当	6,600	オペレータの1人作業
	田植 機械植え	10a当	6,500	苗は含まない オペレータと補助労働者の組作業
秋作業	側条機械植え	10a当	7,600	苗は含まない オペレータと補助労働者の組作業
	脱刈 穀取	コンバイン	10a当	18,600 粉運搬費(2,500円)を含む オペレータと補助労働者の組作業
	乾燥 生乾燥	10a当	7,400	粉の投入・排出・見回りとする
薬剤散布	補助乾燥	10a当	5,000	粉の投入・排出・見回りとする
	もみすり	60kg当	500	紙袋は含まず、オペレータと補助労働者の組作業
	粉・粒剤(長管)	10a当	800	畦畔からの散布 薬剤は含まない
粉・粒剤(短管)		10a当	1,500	水田の中からの散布 薬剤は含まない
乳剤		10a当	1,100	薬剤は含まない
あぜ塗り		100m当	4,500	1m当たり45円
草刈り		10a当	1,800	畦畔及び溝畔部分
溝切り		10a当	1,800	縦4本・横2本
一般作業		1日当	7,500	男女共

【注意事項】

- 1: この料金は一般的な10アールほ場条件のもとに算定した標準額を示したもので、50アール区画以上のほ場での基幹3作業(耕起および代かき、田植、コンバイン)については、上記標準料金の90%とします。
- 2: 労働時間は原則として1日8時間としています。
- 3: 「賄」その他現物支給は含まれておりません。
また、委託者が補助的に作業出役をしないものとします。
- 4: 「手植え」「手刈り」については、一般作業に含みます。
- 5: この料金は、オペレーターと補助員の人件費込みの金額です。
- 6: この料金はあくまでも目安なので、料金設定は地域の実情に応じて決めて下さい。

秋田市賃借料情報

平成29年1月から12月までに秋田市で締結された賃借権(田)における賃借料(10aあたり)の情報です。料金設定の際の参考にご活用ください。

第1区域(北部地区)

地区名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
飯島	6,815	8,000	5,950	154
上新城	7,769	11,000	7,000	65
土崎	7,000	7,000	7,000	5
金足	9,228	11,000	5,000	148
下新城	8,082	12,000	3,500	268
区域平均額	8,002			

第2区域(東部地区)

地区名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
旭川	2,692	3,000	1,000	13
外旭川	7,588	10,000	6,000	165
広山田	10,900	10,900	10,900	8
太平	7,866	13,500	3,000	143
上北手	3,508	5,950	3,000	88
下北手	10,000	10,000	10,000	1
区域平均額	6,741			

第3区域(南西部地区)

地区名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
四ツ小屋	7,409	12,700	5,000	128
豊岩	11,823	17,000	8,500	48
下浜	4,870	5,950	3,000	121
新屋・浜田				データなし
仁井田	4,189	5,950	3,309	6
区域平均額	7,031			

第4区域(河辺地区)

地区名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
岩見三内	6,347	9,898	3,750	284
和田	6,820	11,900	3,967	354
豊島	5,762	9,917	2,395	227
区域平均額	6,387			

第5区域(雄和地区)

地区名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
川添	10,423	15,000	7,360	24
種平	14,000	14,000	14,000	2
戸米川	7,242	10,000	5,000	132
大正寺	7,793	11,000	4,000	81
区域平均額	7,805			

秋田市平均額 7,120円

- 1: データ数は集計に用いた筆数です。
- 2: 地区平均および秋田市平均は、データ数を加重平均したものです。
- 3: 物納は、10,600円/60kgの換算です。

園芸振興センターの 第2期生が就農します

平成28年度から園芸振興センターで約2年間の新規就農研修を受講した3名の研修生が全課程を修了しました。

研修では、1年目に基礎的な知識や技術を学び、2年目には自ら選んだ作目で種まきから肥料管理、収穫、出荷までを行う模擬経営を実施しました。修了にあたっては、自らの就農計画を県秋田地域振興局農業振興普及課やJA新あきたの職員の前で発表し、それぞれが取り組む作目の栽培管理や出荷における注意点などについてアドバイスを受けました。

3名は本年4月から秋田市内での独立自営や農業法人での雇用などにより就農を開始しますが、地域の皆様のフォローアップが必要不可欠となります。巣立っていく3名が就農する地域の皆様には是非とも暖かいご支援とご協力をお願いします。



研修中の様子



就農計画発表会の様子

編集後記



相場 堅一委員
(農地利用最適化委員会
副委員長)

まずは、秋田市農業大賞表彰式において、受賞された皆様にお祝い申し上げます。

さて、秋田市農業賞を受賞された相場美緒さんは、農業委員会が若手農業者部門に推薦させていただいた方で、私の担当地区であります仁井田地区で當農されております。相場さんは平成27年10月発行の農委だよりも紹介させて頂いた仁井田地区での直売活動にご夫婦で積極的に参加し、地域の中心的な担い手として活躍しているほか、販売の際には独自のブランド名を標記し、商品の差別化や6次産業化などにも積極的に取り組んでおられます。当地区には新規就農研修を行っている園芸振興センターもあることから、こういった意欲ある若い農業者を積極的に支援して参りたいと思います。

農業者年金に加入しませんか？

→加入要件はたったこれだけ！

- ①60歳未満の方
 - ②国民年金1号被保険者
 - ③年間60日以上農業に従事している方
- ※配偶者や後継者などの家族も加入できます。

→多くのメリットが！

- ①終身年金で80歳までの保証付き！
- ②支払う保険料は全額保険料控除
- ③手厚い政策支援で保険料の国庫補助も！

お申し込み、お問い合わせは
JAまたは農業委員会へ!!



全国農業新聞

全国農業新聞は、暮らしと経営に役立つ農業情報のほか、経営のパートナーとして活躍している農村女性や若い青年農業者の活躍など元気あふれる情報をお届けします。

- ・発行日………毎週金曜日
- ・購読料………700円／1か月（送料、税込み）
- ・お申し込み…秋田市農業委員会事務局へ
TEL 888-5796